

## 憧れの職業に学ぶ

—働く人に会い、働く意味を考える総合的な学習と道徳学習—

To Learn from your dream job  
—Integrated studies and moral education in which children  
meet the people from the work place and  
learn (and think) about the meaning of work—

お茶の水女子大学附属小学校

渡 辺 敏

- I 研究の目的
  - 1 児童の実態
  - 2 児童を取り巻く社会の現状
  - 3 「憧れの職業に学ぶ」学習の意義
- II 研究の仮説
- III 研究の方法
  - 1 2つの学習形態
  - 2 アンケートによる調査
- IV 研究の内容
  - 1 2つの学習形態の実際
  - 2 アンケートの結果
- V 考察

## I 研究の目的

### 1 児童の実態

一昔前は、子どもと関わる大人がたくさんいた。家には父母に祖父母がいたし、家の周りで働く大人の姿もよく目にしていた。そこでは大人と子どもとの関わりが自然に生まれ、子どもは知らず知らずのうちに社会の中での作法を学んできたし、大人の働く姿を身近に見ていた。このような生活の中から子どもたちは、将来どんな仕事に就きたいか思い描いていた。

しかし現代は子どもも大人も社会の加速と共に時間に追われ、関わりは充分であるとは言えない。学校と習い事と家の往復の生活の中で、子どもは今を忙しく生きることによってエネルギーを使い、自分の将来についてぼんやり考える時間が少ないのではないかと。また家で親と話をすることが少ない子どもも多い。大人と子どもの接点が著しく低下している。

この研究の対象である6年生に「働くこと」に関するアンケートを学習前に実施した。アンケートの結果（資料）をみると「親が働いている様子を見てどのように感じるか」という質問では「大変そう」という回答が14人と一番多く、働くことに関してプラスに考える子が少ないことがわかる。また「働くことにはどんな意味がありますか」の質問では「人の役に立つこと」が13人と一番多いが、その他に「生活が困らないように 6人」「収入を得ること 3人」や「自分を生かす 4人」「自分ができることをがんばる 3人」など賃金や自分の特性を生かすなど、自分を中心にした見方の子どもが多いことが分かった。

### 2 児童を取り巻く社会の現状

子どもを社会の危険から守る様々な取り組みは、同時に子どもを社会から隔離することにつながっている。子どもの安全を脅かす大人はほんの一握りで、社会の中で活躍している、たくさんのすばらしい大人がいることを忘れてはならない。子どものために仕事の時間を割いて協力してくれる大人もたくさんいる。すばらしい大人と子どもたちを学校が結び、その方々から学ぶ学習はできないか。大人と子どもの関わりがやすい社会だからこそ学校が社会と子どもたちを結ぶ役割を担うべきではないかと考えた。

同時に学校教育は、学校で閉じ、学校だけで子どもたちを教育することの発想を転換し、社会に開き、社会と共に子どもを育てる取り組みが求められている。

### 3 「憧れの職業に学ぶ」学習の意義

このような実態と社会の現状を受け、6年生の学習時間で「社会との関わりを深め、働くことの意味を考え自分の将来について考える学習」を計画した。子どもが憧れの職業で働く大人の姿に直接触れる学習の中で、子どもは大人との接し方を学び、働く意味を考え、自分の将来に夢を持つようになるのではないかと。また、このような経験は、中学進学を控え、自分の将来についても考える6年生に適しているのではないかと考えた。

総合的な学習の時間では「学び方や、ものの考え方を身につけ、問題の解決や探求活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする」という目標が掲げられている。また今回の学習では道徳の目標「働くことの意味を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役立つことをする。」との関連を計ることもねらえる。

## II 研究の仮説

児童は実際に憧れの職業の人に出会い、その人の思いや願いを直接学ぶことで、働くことに対する意識が変わるだろう。このような経験は、卒業を控えた子どもたちにとって有意義であり、将来、児童が自分の職業を考えると役に立つであろう。

### III 研究の方法

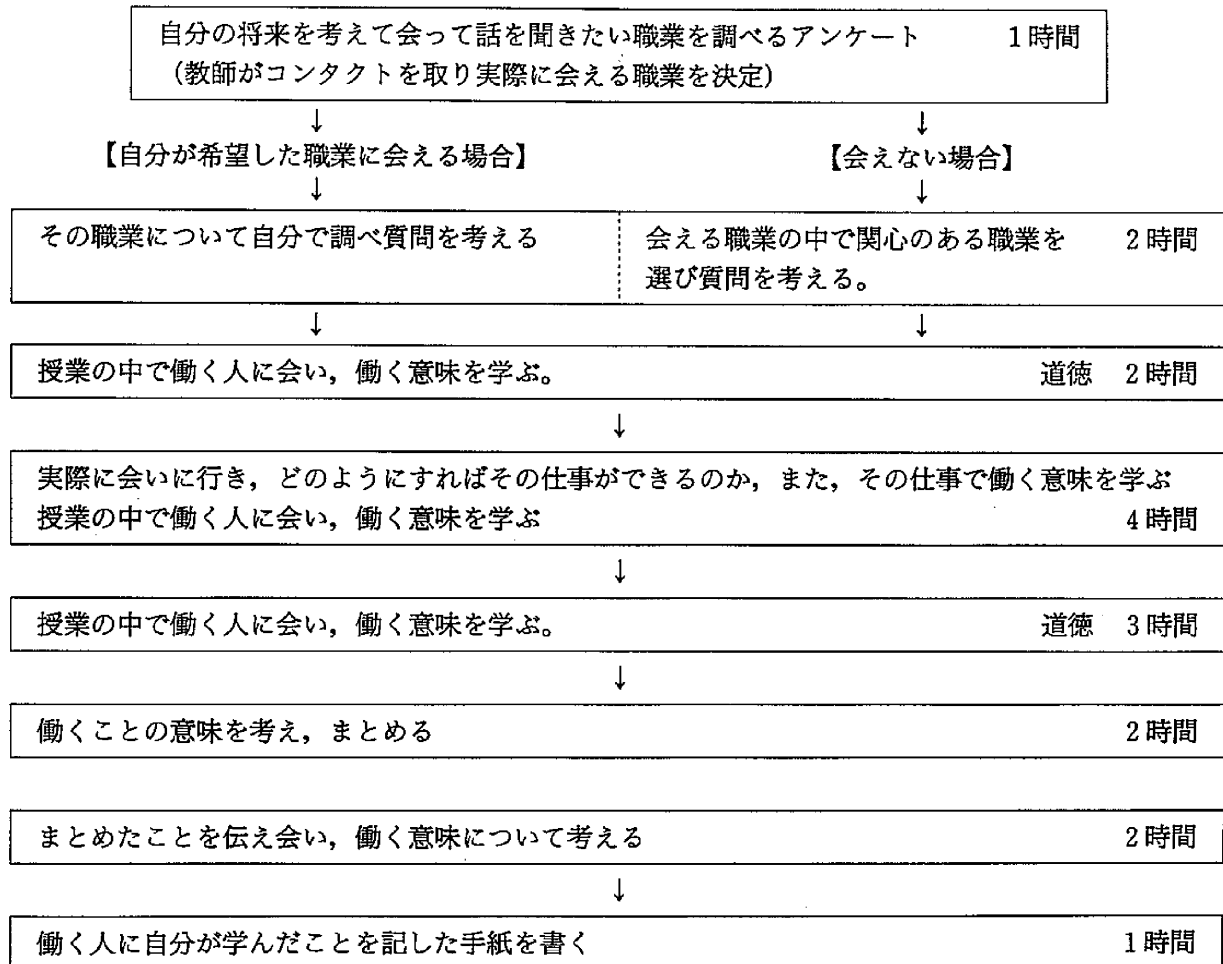
#### 1 2つの学習形態

「憧れの職業に学ぶ」の学習は以下の2つの形態でおこなった。

- ・実際に働く人に会い学ぶ学習
- ・教室で資料を通して働く人に会い学ぶ学習

子どもたちが実際にあって学びたい方は様々な職業であった。実際に会える方は職場を訪問し学ぶ。会えない方は資料を通して授業の中で学ぶことにした。本単元は総合的な学習と道徳の時間を運用した。

○「憧れの職業に学ぶ」学習の概要 (17時間)



#### 2 アンケートによる調査

学習前(資料1)と学習後(資料2)で、児童に働くことに関する意識調査を実施する。集計結果を基に、この学習の意義を考察する。

- ・働くことに対する児童の意識調査を学習前と学習後に実施し、その変容を考察する。
- ・働くことを取り入れた学習を「実際に会う」と「授業で会う」の2つの形態で実施し、その効果を考察する。

## IV 研究の内容

### 1 2つの学習形態の実際

#### (1) 実際に働く方に会いに行く学習の実際

##### ① アンケートの集計から

子どもたちに学習前に働くことに関するアンケートで調査した。調査内容は以下の2点である。

- ・子どもたちの働くことに関する意識
- ・子どもたちが関心がある。また将来なりたいと思っている職業

1点目の働くことに関する意識は「IV-2のアンケート結果」と「Vの考察」で学習後のアンケート結果と比較して考察で述べる。2点目の「関心がある、また将来なりたい職業」は次の通りであった。

ライフセーバー (1) エンジニア (1) 映画家 (1)  
 (2) おもちゃ作り (1) 数学者 (1) 漫画家 (1)  
 ゲームデクリエーター (2) 警察官 (1) 医師 (4) 保母 (4) ロケット技師 (1)  
 獣医 (1) 動物カウンセラー (1) 発明家 (1) 考古学者 (2) デザイナー (1)  
 通訳 (1) サラリーマン (1) 動物に関する仕事 (1)  
 カウンセラー (1) コンビニ (1) 警察官 (1) 教師 (1) 通訳 (1) 計33名

##### ② 会う職業の決定 (1時間)

上記の職業の中で会えそうな方にコンタクトを取り、学習に協力してくれることになった方は以下の9つの職業の方である。

- ・技術者・おもちゃ製作・数学者・漫画家・医師・保母・獣医・デザイナー・映画撮影所

子どもたちはこの中から実際にあって話を聞きたい方を選んだ。アンケートで上記の職に関心のあった子はよかったが、自分が会いたい方に会えない子どもは、会える職業の中から関心のある職を選んだ。

##### ③ ねらいに近づける質問の指導 (2時間)

この学習でねらうことは働く方の生き方に直接触れ学ぶことだ。そのねらいを達成するためにはしっかりと準備して会いに行く必要がある。はじめ子どもたちが考えた質問内容を見ると表面的な質問 (例えば「何時から何時まで働いていますか。」「気をつけていることはなんですか。」)が多かった。

子どもたちには「働いている方はあなた達のために時間を割いてくれるんだ。だから電話でもできるような質問ではなく、実際にあってしかできないような質問を考えよう。働く人が考えていること、思いが分かるような質問にしよう。」となげかけた。

このような質問をすることで働くことの意味を考えることができる。自分が今まで、その仕事に対して持って



グループ毎に質問内容を相談する

1/29 (月)

働く人

行く所 → 医者 (産地先生)

@目黒区のとっかにある産地君のお父さんが勤めている病院

国立病院東京医療センター

行く理由...いつかここで働いて医者の所に行くから

その医者、人はどのような事をしてたどのような事が大変だかわりたがたから、将来は人と助けた仕事をしていける

【質問】

Q1 どのような仕事を主にしているのか

Q2 どのような仕事が大変か

Q3 毎年どのくらい手術をしているのか

Q4 手術で大変な事ベスト3は

Q5 手術の平均時間

Q6 手術と失敗した時の対処法

Q7 病院で失敗した時の対処法

Q8 なか医者になたか

Q9 どれくらい医者になれるか

Q10 どれくらいの人数がいるか

医者に行く子どもが事前に考えた質問

いたイメージと本来の仕事の違いにも気づくことができる。

また自分の生活の延長に考えられるような質問もできるだけ入れるように助言した。「その仕事に就くためにはどんな勉強をすればいいのですか。」「この職業に付くためにはどんな経験が必要ですか。」などだ。このような質問をすることで自分の生活の延長にその職業を考えることができる。また今の自分と比較して自分に何が必要かを考えることをねらった。

#### ④ 実際に会いに行く（3時間）

午後の授業時間を使ってグループ毎に職場へ出発した。引率は担任の他は保護者をお願いした。○技術者のグループはソニー教育財団の紹介でプレイステーションを開発された方から話を聞いた。

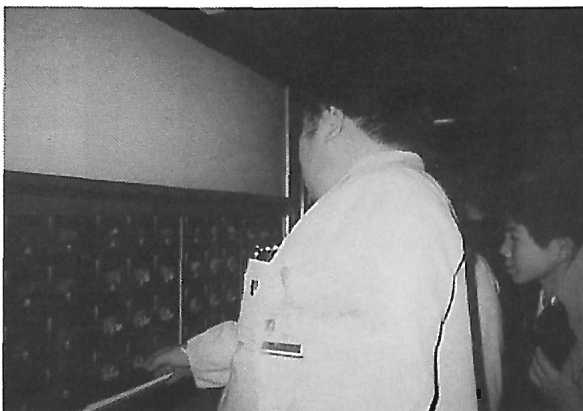


試作器をつかって話を聞く

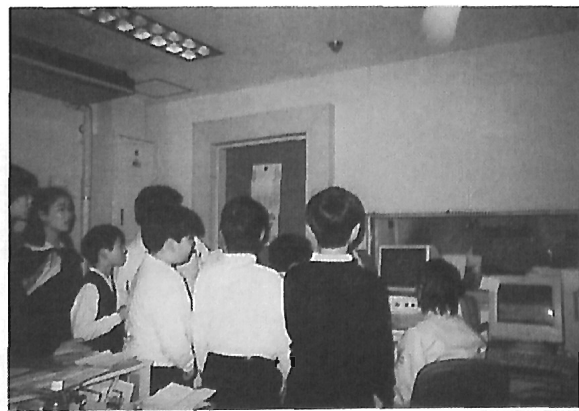


たくさんの設計図を見せてもらう

○医者グループは保護者の勤める病院を訪問し話を聞いた。



C Tスキャンの映像を見せてもらう



担当の先生から話を聞く



① 学習終了後、お世話になった方にお礼の手紙を書く (1時間)

漫画家の方から学んだ子どもの礼状と返事

house-ful

業田さんへ  
 昨日は、インタビューに答えてくださりどうも  
 ありがとうございました。おかげでとてもいい  
 まとめができました。クラスにももらったマニカを  
 置いたら男子が夢中になって読んでいました。  
 今では休み時間はマニカ一色です。  
 2月(土)に働く人について発表します。  
 いい発表にしたいです。

お茶の水女子大学附属小学校6年3組  
 鎌田由香 & 櫻井温子

渡辺先生、結城君、佐島さん  
 櫻井さん、鎌田さん  
 お手紙とレポート送、こくたさ、て  
 ありがとうございます。  
 少しは皆さんのお役に立てたようじ  
 嬉しく思いました。もうすぐ中学生  
 ですね。これから目標と希望を  
 持つて元々張ってください。

「目標も持てる」  
 というのが  
 才能の  
 ひとつ  
 なのですか。



2001.3.1

業田良家  
ごうぶよいえ

(2) 授業で資料を通して働く方に会い学ぶ学習

① この学習のねらい

この学習は2つのねらいがある。1つ目は自分が希望する職業に会えない子どもたちのその職業で働く意味を学ぶため。2つ目は自分が希望する職業に会いに行く子どもが、事前にその職業についての知識を得ることが難しいので、間接であるが学習を通してその職業で働く意味を学ぶためだ。

② 扱った職業 (5時間扱い)

- ・ゲームクリエイター 任天堂 宮本茂さん ・スポーツ指導者 積水化学 小出義雄さん
- ・コンビニエンスストアー セブンイレブン 鈴木敏文さん ・医者 島根医科大学 永井直文さん
- ・技術者 ソニー 盛田昭夫さん

③ 学習の中の主になる発問

子どもたちが働く人の生き方に触れ、学ぶことができるように3種類の発問を考え、実践した。

・『その職業と自分をつなげる発問』

例えばセブンイレブンえあれば「自分ならどんな商品を置きたいか」だ。子どもたちは授業の中だとどうしても自分の生活と、その仕事を分けて考えてしまう。それでは生き方を学ぶことは難しい。自分の生活と、その職業の接点を持ち、身近な問題として考えられるようにした。

・『その方になりきる発問』

例えば「日本初の生態肝移植、君が永井先生だったら引き受けますか。断りますか。」だ。もし自分だったらどうするかを考えることで、子どもたちは真剣に考え、その方の生き方に触れ、学ぶことができる。

・『その方の職業と自分を重ねる発問』

例えば「技術者には、どんな人が向いていると思いますか。」だ。授業の中でその人に生き方に触れ、

それを自分の生活の延長に考えることで、より自分の問題として子どもたちが考えることをねらった。

④ 実際の学習例 (技術者 ソニー 盛田昭夫さん)

働く人

No.7

お茶の水女子大学付属小学校 渡辺 敏

今回の働く人は技術者。子どもたちのアンケートにも「どんな仕事か知りたい」とあった仕事です。

授業の始めに「みんな今欲しい電気製品はありますか。」と聞いてみました。「プレイステーション2」「どうしてそれが欲しいの」と聞くと「画像がきれいだから」という答え。他にはと聞くと「MDコンポ」という答え。私の子どもの頃とは随分違うな…。

今回は電気製品を作る技術者の方です。盛田昭夫さんと井深大さんを紹介しました。

お二人は戦後まもなくの1946年、東京通信工業を設立します。従業員20名ほどの小さな町工場です。設立趣意書には次のように記されています。

「真面目なる技術者の技能を再考に發揮せしむべき自由闊達にして、愉快なる理想工場の建設、文化向上に対する技術面生活面よりの活発なる活動」

はじめは外国製ラジオの修理から始まった会社は4年後日本初のテープレコーダーを開発します。重さ35kg、17万円。学校の視聴覚室にも同様の型の重いテープレコーダーがありましたので紹介しました。値段と重さに子どもたちもびっくりしていました。この機械を二人は「注文が殺到するだろう」と思っていました。全く売れません。おもちゃにしては高すぎると言われたのです。盛田は売れる場所を探します。裁判所、そして学校には売れました。(だから本校にも古い機械が眠っていたのでしょうか)

テープレコーダーの売れ行きも軌道に乗り、次に井深が目を付けたのがトランジスタでした。「真空管も作ったことのない会社がトランジスタなんか無理だ」と社内にも反対の声がありましたが井深は決断します。アメリカのウエスタンエレクトリック社に900万円の特許使用料をはらい契約します。「トランジスタでラジオを作りたいんだ」と井深が言うとウ社は「ラジオだけは止めておけ」と忠告します。ラジオ用の高周波トランジスタはウ社でも成功していなかったのです。

子どもたちには東急ハンズで買って来た20円のトランジスタを見せました。三階メディアに放置されていた真空管ラジオも見せました「この真空管をトランジスタのかえると電気が少なくていい、場所もとらない、壊れにくいんだ。」と話すと感じていました。東京通信工業では岩間さんを中心に開発を進めついに高周波トランジスタを完成させます。はじめは100作って5個成功。値段も1個4千円という高価な物でした。

そして日本初のトランジスタラジオを完成させます。1つ1万7千円。日本ではなかなか売れないだろう。好景気にわいているアメリカで売ろう。二人はアメリカで売るために社名をSONYに変えます。音を表すSONOS, かわいらしいという意味のSUNNYから作った造語でした。

以下の様子はビデオで見せました。盛田は単身アメリカに行きラジオを売り込みます。ある日、時計会社のプロバから注文が入ります。「10万台いただきます。ただしお宅の社名では売れない。プロバ社の商標で売る。」10万台は1年分の生産量、のどから手がでるほど注文は欲しい、でも社名を棄ててはいけない。盛田は悩みます。

子どもたちには「もしあなたが盛田さんなら注文を受けますか、それとも断りますか。」と聞きました。理由も考えてもらいました。

結果は 受ける 8人 断る 22人

受ける派

・お金をたくさんかせいでそれからソニーの商品を売ればいい。





- ・せっかっくのチャンス。もし断ったら売れないかもしれない
- ・会社を大きくしないと同じ事を繰り返すから
- ・どんなことがあっても売らなくてはならない。

#### 断る派

- ・せっかく作ったのに自分の社名で売らなくては意味がない。
- ・自分が努力して作った物。名前を変えてまで売りにたくない。
- ・日本で売れなくなる。

意見が出たところで実際に盛田さんがどうしたかをご自身の著書から紹介しました。

一さんさん考えたあげく、断ることに決めた。他の商標でラジオを作るのは止めよう。これほどの注文を断る人があるのだろうか。プロバ社は当然私が受けるものと思っていたのだ。私がかんとして譲らないのを見て彼は感情を害した。「我が社は五十年も続いてきている有名な会社なんですよ。あなたの会社のブランドなんて、アメリカでは誰も知らない。我が社のブランドを利用しない手はないでしょう。」と彼は言った。彼の言うことはもっともなのだが、私には私の信念があった。

「五十年前あなたの会社のブランドは、ちょうど現在の我が社のように、世間には知られていなかったでしょう。私は今、我が社の新製品とともに、五十年後への第一歩を踏み出そうとしているのです。五十年後にはきっと現在のあなたの会社に負けないくらい、我が社を有名にしてご覧に入れます。」

私は、その注文を受けなかったことを少しも公開しなかった。それどころかこの決断によって、新たな自信とプライドが湧いてきた。—(メイド・イン・ジャパン)

このあとソニー商標でも売っていいというディーラーが現れ、ソニーのラジオはアメリカで空前のヒットを記録します。はじめのモデルは5万、次は20万台売れたのです。この後、世界初のトランジスタテレビの開発、家庭用ホームビデオの開発、ウォークマンのヒット（ウォークマンを知らない子どもがいたのには驚きました）、CD、MDの開発、プレイステーションのヒットと次々に新しい商品を送り出しました。

「今回は技術者として盛田さん、井深さんを紹介しましたが、みんなはどんな人が技術者に向いていると思いますか。」と聞いてみました。子どもたちの意見は

- ・作る、売るなどの夢をあきらめない人。
- ・自分が作ったプライド、誇りを持つ人。
- ・他の人に無理と言われてもあきらめない人
- ・プライドが高い人、自信のある人。
- ・オリジナリティーがある人。
- ・開発に努力を惜しまない人、社会に責任を持つ人

最後にソニーの方からお借りした盛田さんと井深さんが「技術者にのぞむこと」をお話ししているビデオを見せました。盛田さんは「好奇心を常に持つこと」井深さんは「どこにも存在しない物を高度な技術で作出すこと」をお話しされていました。

授業の時間が終わったので紹介できなかった感想をここに紹介します。

- ・好奇心がある人だなと思った。そして努力をしているからこのような商品ができるとおもった。
- ・改めて製作者の大変さを知った。
- ・何でもぼんぼん売れるのかと思っていたけど、その裏には大変な苦労があるんだなと思った。でも社名を代えて売る人もいるんじゃないかなと思った。
- ・今まで見てきた働く人には共通点があります。それはみんな堂々とした意志の強い人で、自分の意見をはっきりと言い、相手の気持ちを考えてあげられる事だと思いました。
- ・技術者の人は好奇心がないとだめなんだ。今までの仕事とは少し雰囲気違った。
- ・ぼくはできるのかな…。
- ・何か作ってみたい。

参考文献「メイド・イン・ジャパン、わが体験的国際戦略 盛田昭夫著 朝日新聞社」

「井深大とソニースピリット 立石泰則著 日本経済新聞社」

「ソニードリームキッズの伝説 ジョン・ネイスン著 文芸春秋」  
「21世紀へ 盛田昭夫著 ワック出版部」  
「学歴無用論 盛田昭夫著」  
「盛田昭夫の自分をもっと大きく生かせ 竹村健一著 三笠書房」  
「源流 ソニー社史」  
参考資料「プロジェクトX 町工場世界へ NHK」  
「ソニーファウンダー ソニー」

## 2 アンケートの結果

働くことに関する子どもの意識を学習前と学習後でアンケートをとり調査した。

### (1) 学習前のアンケート結果

#### 1. 働くことにはどんな意味があると思いますか。

- ・人の役に立つため 12人
- ・生活が困らないようにする 6人
- ・自分を生かすため 4人
- ・お金を得るため 3人
- ・一生懸命取り組む 3人
- ・終わったときにいい気持ちになる 2人
- ・お客様が満足して喜んでもらうため 2人
- ・いろいろな人と出会う 1人

#### 2. お父さん、お母さんの仕事、実際に働いている様子などを見たり、聞いたりしてどのような事を感じますか。

- ・大変そう 14人
- ・わたしたちを育てるためにがんばっている 2人
- ・忙しい 2人
- ・やりがいのある仕事をしている 2人
- ・一生懸命働いていてすごい 2人
- ・夜遅い 2人
- ・いつもつかれている 1人
- ・かっこいい 1人

#### 3. 将来なりたい仕事の理由を書いてください。

- ・人の役に立ちたい 4人
- ・小さい頃からの憧れ 3人
- ・自分の長所を伸ばせる 3人
- ・病人やけがをした人の役に立てる 2人
- ・動物は人の心を和ませるから 2人
- ・かっこいい 2人
- ・平凡に生きたい 1人
- ・子どもの頃ほしかった物を作りたい 1人
- ・大昔のことを知りたい 1人
- ・漫画を読む人を楽しませたい 1人

### (2) 学習終了後のアンケート結果

#### 1. 実際に働く人のところに行く学習は役立ちましたか、役立ちませんでしたか。

役立った 33人 役に立たなかった 0人

#### 2. その理由を簡単に書いてください。(複数解答)

- ・仕事のことが良く分かった 10人
- ・実際に話しが聞けていろいろ分かった 7人
- ・働くことはどれくらい大変か分かった 6人

- ・働く人の気持ちがわかった 6人
  - ・自分のなりたい仕事のことが詳しく分かった 1人
  - ・物を作ることの大切さを知った 1人
  - ・自分がなりたい仕事に余計になりたくなかった 1人
  - ・仕事に魅力を感じた 1人
  - ・簡単そうに見えていたけど難しいということが分かった 1人
3. 授業の中で働く人に出会う学習は役立ちましたか、役立ちませんでしたか。  
役立った 33人 役に立たなかった 0人
4. その理由を簡単に書いてください。(複数解答)
- ・いろいろな仕事のことが分かったから 12人
  - ・仕事の大切さを知ったから 6人
  - ・仕事の情熱を知ったから 3人
  - ・自分のやりたい仕事を頑張っていたのが見れたから 1人
  - ・将来の夢を見つけられたから 1人
5. 働く人の学習を終えてどのようなことを感じましたか。以下の中で当てはまる物に○をつけてください。(複数解答)
- ・自分のなりたい仕事にもっとなりたいと思うようになった 23人
  - ・自分のなりたい仕事は大変そうだなと思った 17人
  - ・自分のなりたい仕事は前と変わらない 14人
  - ・自分のなりたい仕事のためにはならなかった 2人
  - ・自分のなりたい仕事は見つからなかった 1人
- その他 (頑張っってその仕事に就こう。なりたい気持ちが強くなった。)
6. なりたい仕事は何ですか
- ・ライフセーバー 1人 ・エンジニア 1人 ・映画関係 2人 ・おもちゃ作り 2人 ・ゲームデザイナー 2人 ・警察官 1人 ・医師 6人 ・保母 4人 ・考古学者 1人 ・動物カウンセラー 1人 ・獣医 1人 ・ロケット技師 1人 ・発明家 1人 ・通訳 1人 ・洋服デザイナー 4人
7. 働くことにはどんな意味があると思いましたか。  
結果(複数解答)
- ・人の役に立つこと 22人
  - ・自分が出きることを頑張ること 4人
  - ・収入を得ること 3人
  - ・喜び 2人
  - ・人との絆を深めること 2人
  - ・工夫をすること 1人
  - ・生活を楽しくすること 2人
  - ・じぶんが成長すること 1人

## V 考 察

### ① 教師から見た評価

#### (1) 実際に働く人に会いに行く学習はどうであったか

子どもたちは大変学習に積極的であった。特に普段学習に消極的な子どもが意欲的に学ぶ姿が見られたことは印象的であった。子どもたちの興味関心に結びついていなかったのではないかと思う。

アンケートにも「もっとなりたくなかった」の項目が1番多く23名の解答があった。これは自分がなりたい仕事の方に直接会って話が聞けたからではないかと思う。また「自分のなりたい仕事は大変そうだなと思った」と17人が答えていることから、仕事を将来の自分と重ね合わせて考えられた子どもが多くいたと考えられる。これは本単元の目標であるので、ある程度目標に達成できたのではないかと思う。

逆に自分がなりたい仕事の方に会えなかった児童は「自分のなりたい仕事のためにはならなかった」と答えている。子どもたちが希望する職業の方に会えなかったのは教師の準備不足が原因であった。

(2) 授業の中で出会う学習はどうであったか

いろいろな職業の方の仕事を学ぶという意味では効果があったようだ。普段はあまり見られない仕事に対する情熱、責任、夢などが見られたことを面白く感じた児童もいた。

教師からすると1時間の授業の中で子どもたちに初めて知る仕事について理解させ、子どもの生活に結びつけること、また子どもたちには働く人になりきって考えさせることはかなり難しく感じられた。また1つの職業を1時間の授業にすることもかなり難しいことであった。実際には扱えない職業があったのも反省として残る。

(3) 働く意味についての子どもの考えの変化

「働くとはどんな意味があると思いますか」この質問は学習前と学習後にアンケートで聞いている項目である。

学習前			学習後	
人の役に立つこと	13人	→	22人	
収入を得ること	3人	→	3人	
自分ができることを頑張る	3人	→	3人	
工夫すること	2人	→	1人	
人との絆を深める	1人	→	2人	
<hr/>				
自分を生かす	4人		生活を楽しくすること	1人
終わったときいい気持ち	2人		自分が成長すること	1人
いろいろな人との出会い	1人		喜び	2人
生活が困らないようにする	6人			
いやなことも楽しいこともする	1人			

比較して見ると共通する答えでは「人に役立つこと」が13人から22人に増えている。また共通していない答えでは「自分を生かす」「生活に困らないように」が学習後は無くなっている。この傾向から学習前は自分中心に考えていた「働く」ということが学習を通して働く対象となる人のことを意識できるようになったのではないかと考えられる。

資料1 学習前のアンケート

働くこと、仕事に関するアンケート

5年生では働くを6年生では旅、働くなどで実際に働いたり、働く人を見てきたと思います。また卒業を控え自分の将来の仕事についても考えることがあると思います。以上のようなことを踏まえて次のアンケートに答えましょう。

1. 働くとはどんな意味があると思いますか。

★社会に目きむけることができる。

2. お父さん、お母さんの仕事、実際に働いている様子などを見たり聞いたりしてどのようなことを感じますか。

★大変そう 自分にほめてほしい気がする。

3. 自分が大人になったらどんな仕事につきたいと思いますか。また実際にやってみたい働く内容があったら書いて下さい。

★ フォトリポシ デザイナー

4. 3で書いた仕事につきたい、またはやってみたい理由を書いて下さい。

★ 自分が作ったデザインをうまく出来るようにしたい。

★ また新しいデザインをつくってみたいから。

5. こういう仕事についてもっと詳しく知りたいと思うものがあつたら、思いつくだけ書いて下さい。

特になし。

資料2 学習後のアンケート

働く人アンケート

働く人の学習では実際に働く人のところに行く学習と授業の中で働く人に出会う学習をしました。

1. 実際に働く人に出会う学習は役に立ちましたか、役に立ちませんでしたか。

役に立った。役に立たなかった。

2. 1の理由を簡単に書いてください。

デザイナーさんの苦勞が分かりました。

なるため仕事など。

3. 授業の中で働く人に出会う学習は役に立ちましたか、役に立ちませんでしたか。

役に立った。役に立たなかった。

4. 3の理由を簡単に書いてください。

よく知らな人がたくさんいて、よくわかる。

5. 働く人の学習を終えてどのようなことを感じましたか以下の中で当てはまる物に丸をつけてください。

- ・自分のなりたい仕事は見つからなかった
  - ・自分のなりたい仕事のためにはならなかった
  - ・自分のなりたい仕事は前と変わらない
  - 自分のなりたい仕事に、もっとなりたいと思うようになった。
  - ・自分のなりたい仕事は大変そうだなと思った。
  - 自分のなりたい仕事が変わった。(新しくなりたい仕事が見つかった)
- その他に感じたこと

6. あなたのなりたい仕事は何ですか。

デザイナーさん。

7. 6で答えた仕事に就きたい理由を簡単に書いてください

見習して、ととも、大変そうだからだけれど、

自分の好きな事を生かすから。

8. 働くことにはどんな意味があると思いますか

人の役に立つたり、自分のがんばれる事をしようと思える事。